

[成果情報名]果実外観が良好で栽培性に優れるピタヤ新品種候補名護3号

[要約]ピタヤ（ドラゴンフルーツ）の新品種候補名護3号は、果皮色が淡紅、果肉色が濃赤紫で、一般的な赤肉系のピタヤに比べ、大玉で外観が良い。自家結実性を有し、とげが極めて短いことから栽培性に優れる。

[キーワード]ピタヤ（ドラゴンフルーツ）、名護3号、大玉、自家結実性、とげ

[担当]沖縄県農業研究センター・名護支所・果樹班

[代表連絡先]電話 0980-52-0052

[分類]普及成果情報

[背景・ねらい]

ピタヤ（ドラゴンフルーツ）は特徴的な果実外観から人気が高く、近年は生食だけでなく、スムージーなどの加工利用でも注目され、生産の拡大が期待されている。一方、沖縄県内では種々多様な系統が栽培されており、果実品質にバラつきが大きいことが課題となっており、2003年には農業研究センター名護支場にてピタヤ有望系統3系統を選抜したが、食味や栽培性に課題がある。そこで、交雑育種にて自家結実性など栽培性に優れ、大玉で良食味な新品種を育成する。

[成果の内容・特徴]

1. 名護3号は、栽培性に優れた優良系統として沖縄県内での普及が期待されるピタヤ（ドラゴンフルーツ）の新品種候補である。2010年に県内から収集した系統を用いて、種子親 OGW2 に花粉親 SR を交配して作出した。2012年に第1次選抜（個体選抜）、2014年に第2次選抜を経て、2015年より現在の系統名を付し、名護および石垣において地域適応性を検討した結果、選抜された系統である。
2. 果皮色は淡紅、果肉色は濃赤紫の赤肉系である。果皮に光沢があり、果実外観に優れる。果形は長楕円である（図1）。
3. 収穫期間は7月中旬から11月上旬である。果実重は400g程度で大玉である。糖度13.1%、酸度0.86%で、酸味を感じる（表1）。
4. とげは葉状茎の溝箇所から発生し、長さが極めて短く、数も少ないことから、手にささりにくく、作業性に優れる（図2）。自家結実性を有しており、裂果は発生しにくい（表2）。

[普及のための参考情報]

1. 普及対象：沖縄県内ピタヤ生産者
2. 普及予定地域・普及予定面積：沖縄県内 3 ha

[具体的データ]



図1 名護3号およびNo.5¹⁾(赤肉)の果実断面

1) No.5は2003年に農業試験場名護支場にて選抜された赤肉系統である。

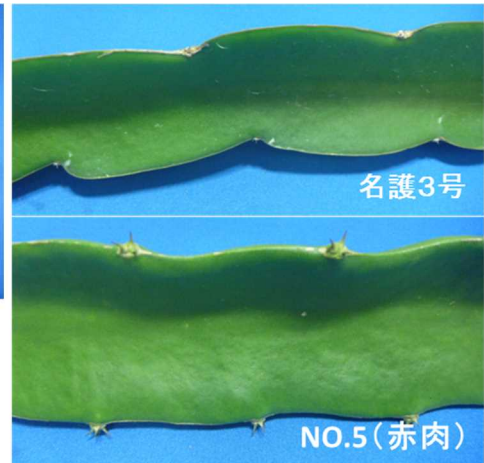


図2 名護3号およびNo.5(赤肉)の葉状茎およびとげ座

表1 名護3号の果実形態および品質特性

試験地 ¹⁾	系統 ^{2),3)}	開花期間		開花回数 ⁴⁾	収穫期間 ⁵⁾		収穫個数 (個/樹)	収量 (kg/樹)	果実重 (g)	果実 断面形	果皮色	果肉色 ⁶⁾	糖度 (°Brix)	酸度 (%)
		開始	終了		開始	終了								
名護	名護3号	6/11	9/26	7	7/17	11/4	23	9.4	414	長楕円	淡紅	濃赤紫	13.1	0.86
	No.5(赤肉)	5/30	10/7	9	7/2	11/8	26	8.9	346	楕円	紅	赤紫	12.9	0.76
	No.22(白肉)	6/21	9/23	6	7/24	10/24	19	6.1	301	長楕円	淡紅	緑白	12.1	0.92
石垣	名護3号	6/24	9/27	-	7/29	10/28	-	-	400	長楕円	淡紅	濃赤紫	13.5	0.78
	No.5(赤肉)	6/23	9/26	-	7/28	10/28	-	-	284	楕円	紅	赤紫	13.9	0.63
	No.22(白肉)	6/23	9/26	-	8/26	10/28	-	-	221	長楕円	淡紅	緑白	12.0	0.86

- 1) 名護は2014～2016年のデータ、石垣は2016年のデータを記載。
- 2) 供試系統は名護は2013年3月、石垣は2015年6月にポットに植え付けた。栽培管理は、名護支所は80Lポットを用いて2014年はビニールを被覆したH鋼ハウス、2015～2016年は防虫ネットのみのH鋼ハウス、石垣支所は60Lポットを用いて防虫ネットのみのパイプハウスで実施した。
- 3) 標準系統として、2003年に農業試験場名護支場にて選抜されたNo.5(赤肉系統)およびNo.22(白肉系統)を用いた。
- 4) 全ての供試個体から1花以上の開花が見られた週の総回数。
- 5) 収穫は果皮全体が着色し、開花から30日程度の果実を収穫した。
- 6) 果肉色は日本園芸植物標準色票より該当する色を選択した。

表2 名護3号の栽培特性関連形質および果実障害特性

試験地	系統	自家結実性	とげの長さ ¹⁾	とげの多少 ²⁾	裂果率 (%)	炭腐病 発生率(%)
名護	名護3号	有	極短	少	0	4.5
	No.5(赤肉)	無	中	中	15.2	1.0
	No.22(白肉)	有	中	中	0.2	6.9
石垣	名護3号	有	極短	少	0	0
	No.5(赤肉)	無	中	中	27.3	0
	No.22(白肉)	有	中	中	0	0

- 1) とげの長さは新葉茎上で座から出そろった状態のとげの最大長とし、階級は極短: 1.5mm未満、短: 1.5mm以上3mm未満、中: 3mm以上6mm未満、大: 6mm以上とした。
- 2) とげの多少はとげ座当たりの平均とげ数とし、階級は少: 3個未満、中: 3個以上5未満、多: 5個以上とした。

(沖縄県農業研究センター名護支所)

[その他]

予算区分：県単

研究機関：2009～2016年度

研究担当者：島尻庸平、謝花治、棚原尚哉、伊地良太郎、加藤智子、玉城聡、松村まさと
発表論文等：

- 1) 島尻ら「名護3号」品種登録出願予定(2018年)
- 2) 島尻ら(2017)平成29年度沖縄県普及に移す技術の概要